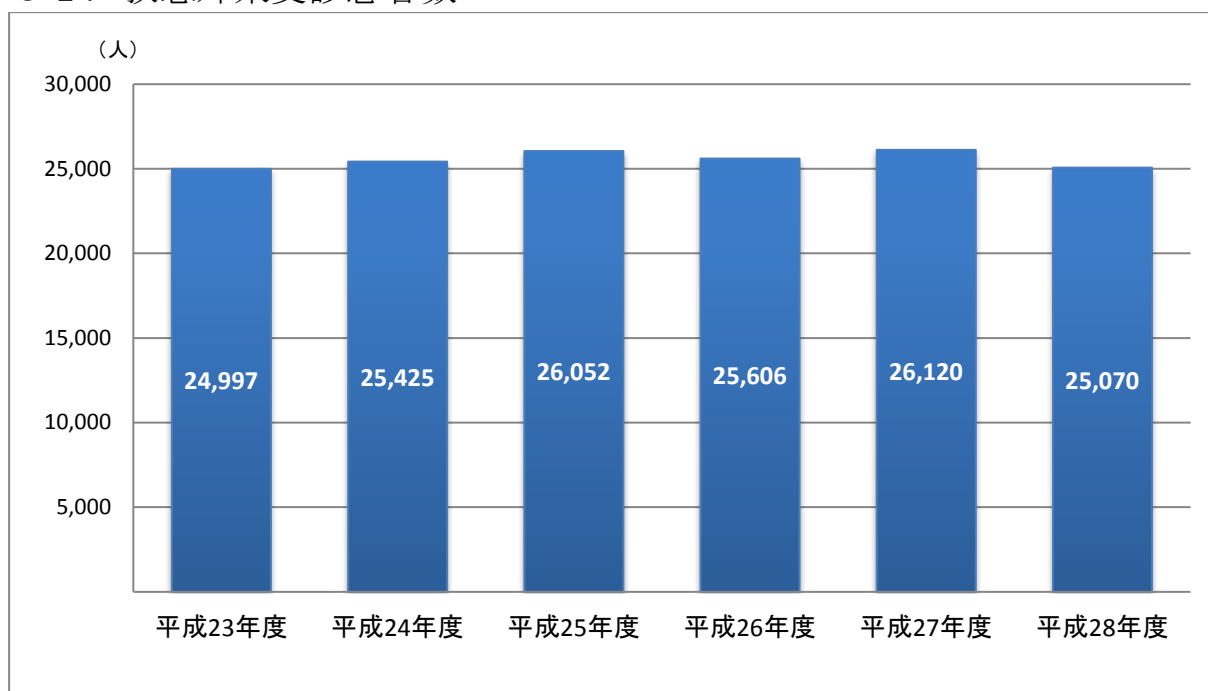


5 1. 救急外来受診患者数



救急外来を受診する患者は、救急車を利用する場合と直接来院される walk in に分かれる。

平成 22 年 4 月より救命救急センターが総合救命救急センターとなり、NCU,CCU,GICU の病棟部門だけでなく、24 時間体制の外来部門 ER を加え救急体制を強化した。また、平成 23 年度より救命 ICU 病棟を開設し、より多くの重症救急患者を受け入れる体制を整備し、平成 25 年 4 月からは、救急隊からの要請に対し当院の医師と看護師がいち早く現場に駆け付け治療を行うドクターカーの運用を開始した。平成 27 年 5 月の A 棟開棟に伴い、更なる機能の拡充のため各ユニットを 1 フロアに集約し、重症外傷患者に特化した災害外傷センターを開設した。

救急外来では毎年約 25,000 人以上の患者が受診している。しかし、平成 28 年度は、前年度と比較すると 1,000 人程度減少した。施設環境が A 棟として完備された現在においては、継続して他医療機関との病診連携、病病連携の強化、救急隊との更なる連携強化が必要である。

データ提供 医療事務部救命管理課